

事務事業名		生涯スポーツ指導者育成事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				組織	担当係	市民スポーツ係	担当課長名	関口 吉丸
	施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	生涯スポーツの推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15060	一般	10	5	1	スポーツ指導者育成事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	S58年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市スポーツ指導者育成 事業補助金交付要綱				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		人材育成事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当			
事業区分						市長マニフェスト		3-14			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)						
スポーツ指導者を対象に資質や知識の向上を目指して研修会を開催する。				研修会の開催(3月) H29.3.14(火)講師:鈴木いづみ『ジュニアアスリートの栄養と食事』(田沼中央公民館大ホール)参加者167名						
活動指標				単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
研修会開催回数				回	1	1	1	1	1	1
通知発送数				通	187	187	188	198	200	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①市内スポーツ関係団体:体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ				対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
②市内の指導者:県スポーツリーダーバンク登録者				スポーツ団体代表者	人	47	47	47	47	47
③市スポーツ推進委員				栃木県スポーツリーダーバンク登録者数	人	46	46	46	46	46
				スポーツ推進委員数	人	36	36	36	36	30
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
スポーツ指導者の資質の向上を図る。				成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
				研修会参加者数	人	59	59	52	167	200
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
高度な指導力を身につける。				上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
				生涯スポーツ関係公認資格取得者数	人	—	116	96	110	130

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)				
	国庫支出金		千円									
	県支出金		千円									
	地方債		千円									
	その他		千円									
	一般財源		千円	65	45	71	159	157				
	事業費計(A)		千円	65	45	71	159	157				
	事業費の内訳		千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費			
				消耗品費	20	報償金	45	報償金	55	報償金	85	
				食糧費	0	消耗品費	0	消耗品	15	消耗品費	34	需用費
業務委託料				45	食糧費	0	食糧費	1	補助金	40	補助金	40
				業務委託料	0							
人件費		人	5	5	5	5	5					
のべ業務時間		時間	90	90	50	90	90					
人件費計(B)		千円	350	355	195	346	346					
トータルコスト(A)+(B)		千円	415	400	266	505	503					

B表(事後評価シート)

事務事業名	生涯スポーツ指導者育成事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	---------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和58年度に各市町のスポーツ振興に寄与するべく、それぞれの市町の指導者を登録し組織化することで、住民の要請に応じて指導者を紹介し、活用できる指導体制を整備する為に始められた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	現在ではスポーツリーダーバンクの手続きによらず、スポーツ推進委員・スポーツ少年団認定指導者・体協各専門部の指導者などが、各地域等で指導を行なうようになっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	スポーツリーダーバンクとしての組織の有効的な活用、あるいはリーダーバンクの組織自体を見直しの必要があるとの市民からの意見がある

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 指導者の育成や資質の向上により、スポーツの振興やレベル向上を図れることは、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 市民へのスポーツ活動参加を呼びかけるには、指導者の果たす役割は非常に重要である。そのため、指導者の資質を向上させるための事業を実施する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 研修会を実施することにより、指導者の資質の向上が図られるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 現在の事務事業で十分な成果を上げている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 必要最低限の事業費であり、今後も事業の成果を維持するためには削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 資格等の取れる研修会ではないので受益者負担は不要である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	指導者の育成と資質向上は、継続的に行う必要があり事業の終了はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
			コスト																							
			削減	維持	増加																					
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																										
指導者育成事業と連携し体系づけた事業展開を検討し実施していく。																										